

リサイクルプラザ及び集団資源回収資源化量の推移と今後について

1 資源化量の推移について

リサイクルプラザに搬入される「缶・びん・ペットボトル」「容器包装プラスチック」は、「スチール缶」「アルミ缶」「びん(無色)」「びん(茶色)」「びん(その他の色)」「ガラス残さ」「ペットボトル」「容器包装プラスチック」に選別後、資源化しています。資源化量の増減は、品目ごとに傾向は異なりますが、過去5年平均で2.4%減少しています。

一方、集団資源回収は、リサイクルプラザに搬入する段ボールなどの紙類と、横須賀市資源回収協同組合が直接資源化している品目に分類され、いずれも減少傾向にあります。特に、新聞など、直接資源化している品目の減少率が5.8%と大きいことが、平成28年度実績においてリサイクルプラザと集団資源回収の資源化量が逆転した理由となっています。

2 今後の取り組み

新聞や雑誌の減少は社会情勢から見てやむを得ず、前述の傾向は今後も続くと思われていますが、「その他の紙」と「缶以外の金属」については、燃せるごみや不燃ごみへの混入が見られるため、平成28年度に配布した「その他の紙」の回収促進袋を活用した周知など、今後も引き続き市民啓発に努めていきます。

(内訳)

	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	増減割合 平均	
リサイクルプラザ	20,836	19,633	19,336	18,956	18,777	△2.5%	↑ △2.4% ↓ △2.7% ↓
スチール缶	881	791	739	689	646	△6.7%	
アルミ缶	753	756	736	751	741	△0.4%	
びん(無色、茶色、その他色)	2,184	2,119	2,043	2,093	2,038	△1.7%	
ガラス残さ	1,288	1,271	1,299	1,232	1,128	△3.1%	
ペットボトル	1,617	1,587	1,564	1,570	1,588	△0.4%	
容器包装プラスチック	8,682	7,860	7,862	7,722	7,785	△2.6%	
段ボール	3,723	3,658	3,619	3,517	3,459	△1.8%	
紙パック	103	98	90	85	84	△4.6%	
その他の紙	1,605	1,493	1,384	1,297	1,308	△4.6%	
集団資源回収(直接資源化)	23,079	22,046	20,825	19,339	17,702	△5.8%	
新聞	12,327	11,682	10,944	10,034	9,257	△6.2%	
雑誌	6,681	6,460	6,191	5,809	5,562	△4.2%	
古着・古布類	2,603	2,544	2,405	2,286	1,736	△8.3%	
缶以外の金属	1,468	1,360	1,285	1,210	1,147	△5.5%	

* 網掛けの品目は、集団資源回収で回収